2024.11.12

安全データシート

作成日：2023年11月8日

改訂日：2024年11月12日（改訂2）

1.化学品及び会社情報

製品の名称：ペルシールクリーン

会　　社：ハクゾウメディカル株式会社

住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9

担 当 部 門：研究開発部

電 話 番 号：06-6942-0390

ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険	金属腐食性物質	区分：区分 1
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分：区分 1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分：区分 1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報　金属腐食性の恐れ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策　使用前に、安全データシートを読み理解した上で作業すること。
取り扱い中は、保護眼鏡・保護手袋を着用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。

	他の容器に移し替えないこと。
応急措置	物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。 皮膚（または髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。速やかに医師の手当てを受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 眼に入った場合は、直ちに流水で 15 分以上洗い流す。（コンタクトレンズは外す）その後速やかに医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合は、直ちに大量の水を飲ませる（意識のない場合には口から何も与えない）。無理に吐かせないで速やかに医師の手当てを受ける。 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 ばく露したとき、又は気分が悪いときは医師に連絡すること。
保管	製品容器は密閉して保管し、漏洩しないように注意する。 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。 子供の手の届かないところに保管する。 耐食性のある容器に保管すること。
廃棄	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名　　：酸化剤を含有する水溶液（不織布に含まれている）

4.応急措置

吸入した場合　　：被災者を新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。速やかに医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合　：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の流水またはシャワーで洗うこと。速やかに医師の診断を受けること。
眼に入った場合　　：直ちに流水で 15 分以上洗い流す。（コンタクトレンズは外す）その後速やかに医師の手当てを受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な目の損傷を生ずるおそれがある。
飲み込んだ場合　　：無理に吐かせないこと。出来るだけ多量の水を飲ませる等（意識のない場合には口からは何も与えない）の処置をして、速やかに医師の手当てを受ける。

5.火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を使用する。 二酸化炭素、粉末、泡、乾燥砂など。

使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	加熱されると刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合は、散水し冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

：漏出時の処置を行う場合には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立合いを禁止する。作業は風上から、保護具を着用して行う。

環境に対する注意事項　：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

：（少量）乾燥砂、土、ウエス等により、出来るだけ密閉できる空容器に回収する。

：（多量）漏洩した液は土砂等でその流れを止め、これを吸着させるか、又は安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。発生するガスは霧状の水をかけて吸収させる。この場合濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：取扱い場所の近くに、緊急時用の洗眼器及び安全シャワーを設置する。作業場の換気を十分に行う。ミストを吸入しない。保護具を着用し、眼、皮膚に直接触れないようにする。取扱う場合は、局所排気、全体換気の設備のある場所で取扱う。
安全取扱注意事項	：皮膚・眼への接触を避ける。
接触回避	：強塩基類、ハロゲン化合物、シアン化合物、金属塩との接触を避ける。
衛生対策	：この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしない。取扱い後はよく手を洗う。作業後、手を良く洗い、うがいをしてから飲食等をする。

保管

安全な保管条件	：直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。アルカリと同じ場所に貯蔵又は保管しない。製品容器は密閉して保管し、漏出しないように注意する。
安全な容器包装材料	：ポリエチレン等の耐食性容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策	直接取り扱う場所には、局所排気装置を設置する。また、全体排気設備が望ましい。 取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	酸性ガス用防毒マスク又は送気マスク
手の保護具	ゴム製保護手袋
眼の保護具	保護メガネ（化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること）
皮膚及び身体の保護具	ビニール製保護衣、ゴム製保護長靴

9.物理的及び化学的性質

色	無色透明
臭い	特異臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点および沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
ｐＨ	1.7（25℃、原液）
動粘度率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水配分計数（log 値）	データなし
蒸気圧	データなし
相対密度（比重）	1.01（25℃）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
皮膚及び身体の保護具	ビニール製保護衣、ゴム製保護長靴

10.安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	通常の取扱いにおいて有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	日光、熱、混合危険物との接触
混触危険物質	強塩基類、ハロゲン化合物、シアン化合物、金属塩
危険有害な分解生成物	硫黄化合物、酸素

11.有害性情報

急性毒性	経口　LD50 値>54,462mg/kg（配合原料からの算出値） 判定の結果、区分に該当しない。 経皮　LD50 値>566,572mg/kg（配合原料からの算出値） 判定の結果、区分に該当しない。
皮膚腐食性／刺激性	判定の結果、区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	判定の結果、区分 1 とした。
呼吸器感作性	判定の結果、分類できない。
皮膚感作性	判定の結果、分類できない。
生殖細胞変異原性	判定の結果、分類できない。
発がん性	判定の結果、分類できない。
生殖毒性	判定の結果、分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	判定の結果、区分に該当しない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	判定の結果、区分に該当しない。
誤えん有害性	判定の結果、分類できない。
その他の情報	なし

12.環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性　短期（急性）	判定の結果、区分に該当しない。
水生環境有害性　長期（慢性）	判定の結果、分類できない。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなしのため、分類できない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無毒化、安定化及び中和等の処置を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処置を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処置を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器、包装	容器は内容物を完全に除去した後、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号	1760
品名	腐食性液体、n.o.s
国連分類	クラス 8（腐食性物質）
容器等級	容器等級Ⅲ

国内規制

陸上規制情報	消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

容器の破損、漏れがないことを確かめる。運搬に際しては、直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆をするとともに、包材に漏れのないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指令番号　154　毒性物質／腐食性物質（不燃性）

15.適用法令

消防法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	該当しない
労働安全衛生法	規則皮膚等障害化学物質等　皮膚刺激性有害物質

16.その他の情報

主な参考文献

「GHS 対応ガイドライン　ラベル及び表示・安全データシート作成指針」日本化学工業協会（2019）
「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
・ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253：2019）日本規格協会
「GHS に基づく化学品の分類方法　JIS Z 7252:2019」日本規格協会
「GHS 分類結果データベース」独立行政法人　製品評価技術基盤機構（NITE）
「緊急時応急措置指針［ERG2020 版］」日本化学工業協会（2021）

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。